

平成23年度 表彰提案

県の施策に関する提案

テーマ：郷土工芸品の振興策について	
【奨励賞】郷土工芸品を使用した生活スタイルの提案 提案者：環境政策課 主任 吉澤 知丈	
提 案 内 容	表 彰 理 由
郷土工芸品について、工芸品自体の紹介に加え、愛用している方の生活スタイルなども紹介するフォトパンフレットを作成・配布し、郷土工芸品の振興を図る。 [具体の取り組み] ・郷土工芸品を日常生活で愛用している方を公募し、自宅等での使用状況を写真に撮影するとともに、使用にあたっての感想を聴取 ・茨城県ゆかりの有名人等にも郷土工芸品を使用して頂き同様の取組を実施 ・洋風住宅や和風住宅など生活スタイルごとに、郷土工芸品を使用した住宅の写真をカタログに掲載	郷土工芸品のパンフレットは作成されたことがあり、実施可能性が高い。(パンフレットは平成21年度に作成し、現在はそれを使用している) パンフレットの見直しを図る際に、本案を採用することにより、より効果的な郷土工芸品の愛用促進につながると考えられる。

テーマ：郷土愛の醸成、児童生徒の豊かな心の育成	
【奨励賞】「いばらき記憶遺産（オーラル・ヒストリー）」認定運動 提案者：教育庁文化課 課長補佐 石井 好之	
提 案 内 容	表 彰 理 由
小・中学生による総合学習等で地域の高齢者を訪問して地域における昔の出来事、昔の地勢、無くなった風俗・慣習、災害の記憶等の「昔語り」（オーラルヒストリー）を聞き取り、地域を知る学習を進める。 また、公民館等の生涯学習活動の取り組みとして高齢者の「昔語り」をとりまとめる活動を推進する。 [具体の取り組み] ・とりまとめた情報について、小・中学校では発表会等を開催し、優秀な作品については表彰を実施 ・県のHP等に「地域の昔を語る」フォーラム（情報サイト）を設定 ・特に有用と考えられる情報を「いばらき記憶遺産」として認定	児童・生徒とお年寄りとのふれあいを通じて、郷土愛や豊かな心の育成に効果的と考える。 さらに、生涯学習活動の一環として、親子で取り組むことで郷土への理解がさらに深まる可能性も秘めており、推奨すべきものと考えられる。